

# なかま

プリンストン日本語学校

28年度 No.35

平成29年1月29日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



## 書初め③...展示



各教室の廊下(高等部・P 中高・中3は3Fロビー)に、子どもたちの作品が展示されました。登校時に、お父さん・お母さんに見てもらえるよう、各学級のクラス委員の皆さんを中心に、早い時間帯から展示作業のご協力をいただきました。

文字の形にはそれぞれに特徴がありましたが、一画一画丁寧に、バランスを考えながら書かれた作品がずらりと並びました。在米中は、なかなか筆に触れる機会がないご家庭も多いようで、「こうした取り組みをしてもらえるのは、ありがたいよね」などと、保護者の皆さんからの感謝の声も聞こえてきました。少し早めに登校した児童が自分の作品とともに記念写真を撮っていたり、授業中の静かな廊下で、お子さんの作品を写真に収める保護者の方がいたり...。早い時間の登校となり、クラス委員の皆さんにはご苦勞をいただきましたが、子どもたちにとっても、保護者にとっても、ありがたい展示となりました。ご協力いただいた方々には、心よりお礼申し上げます。

◆幼稚部でも、毛筆による書初めが実施されました。小さな手では余るような太筆でしたが、神妙な面持ちで、お手本を見つめたりなぞってみたりしていました。ビニール製のエプロンで完全武装した子どもたちでしたが、大変真剣で落ち着いた取り組みとなりました。◆幼稚部も含め子どもたちは、使い慣れない筆を用いることにより、今までにない文字の世界の広がりを経験する行事となったようです。これを機に、少しでも文字に対する関心や、日本語・国語への取組の伸長につながることを願っています。



## 海外子女文芸作品コンクールより①

海外子女文芸作品コンクールの賞状と副賞が届きましたので、先週校長から授与いたしました。



優秀賞の西山えみりさん、中川陽葵さんには賞状と盾、佳作に入選した後藤美海さん、ワーグナー海君、佐藤彩良さんには賞状とメダルが届きました。

本校生徒にとって、文章を書く機会は限られていますが、こうしたコンクール等を契機として、取り組んでいか

れるのもよいと思います。◆70億人を超える人々が暮らす世界で、補習校に通う子どもたちは、君たちを含めてわずか2万人(0.0003%)です。君たちが体験したこと、見聞きしたこと、感じたこと、考えたことは、世界の人々にとっても大変貴重なものになります。少々大変かもしれませんが、その年、その時の考え・感じたことを、是非文章としてあらわしておきましょう。



## 作品紹介「詩」の部：優秀賞

「マンタ」 小5 中川 陽葵 (原文は縦書き)  
(この作品は「第37回海外子女文芸作品コンクール『地球に学ぶ』」に掲載されています。)

なんて不思議な生き物なんだろう。  
大きく腕を広げて。  
長いしっぽはするどいつるぎ。

泳ぐすがたはまるで空飛ぶじゆうたんだ、  
きみは本当に魚なの？  
長いしっぽをくねくねさせて。

下からのぞくと白い顔みたい。  
笑顔でわたしをみているみたい。  
長いしっぽで手をふって。

マンタという名前もおもしろい。  
元気に走りまわる男の子が目にかぶ。  
長いしっぽで風をきれ！

マンタのせなかに乗って、  
広い海をぼうけんしよう。  
長いしっぽにつかまって。



## 今後の予定

**本日** 幼稚部豆まき(中庭)  
日文見学会(小6、中1・2、P 小高、P 中高低)  
燦々プロジェクト:小野先生講師 13:30~  
総務オフィサーミーティング 14:45~

1月31日 平成29年度進級/進学及び選択教科希望締切  
2月5日 漢字検定  
2月12日 新一年生入学説明会/YMCA キャンプ説明会  
2月19日 総務オフィサーミーティング  
2月26日 入園説明会/YMCA キャンプ説明会  
係担当部長連絡会

